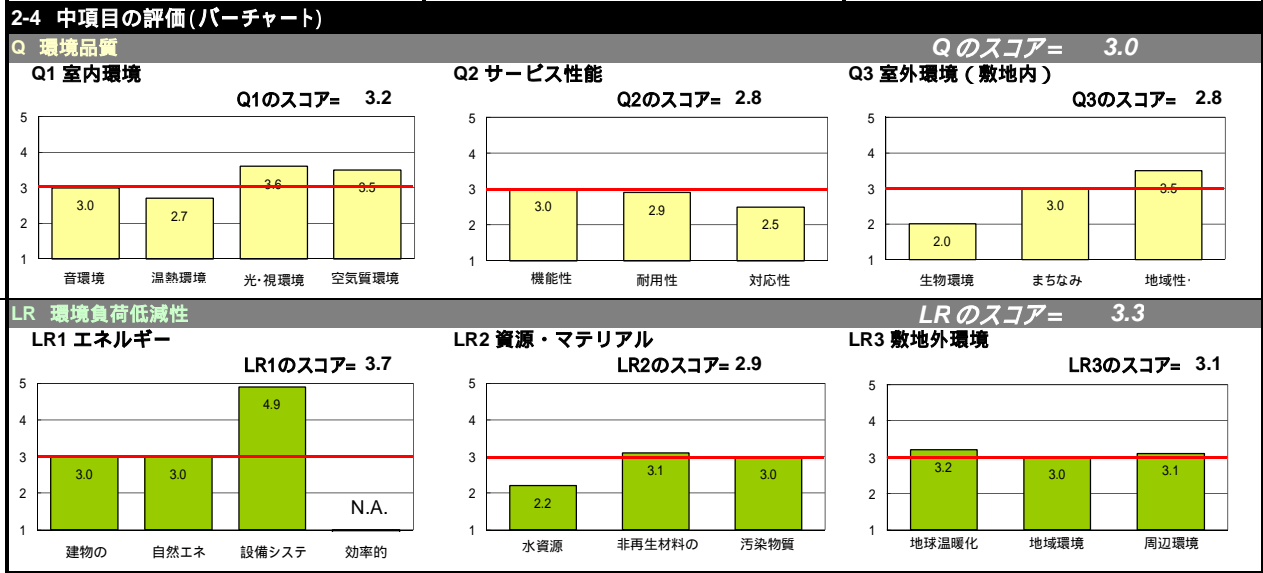
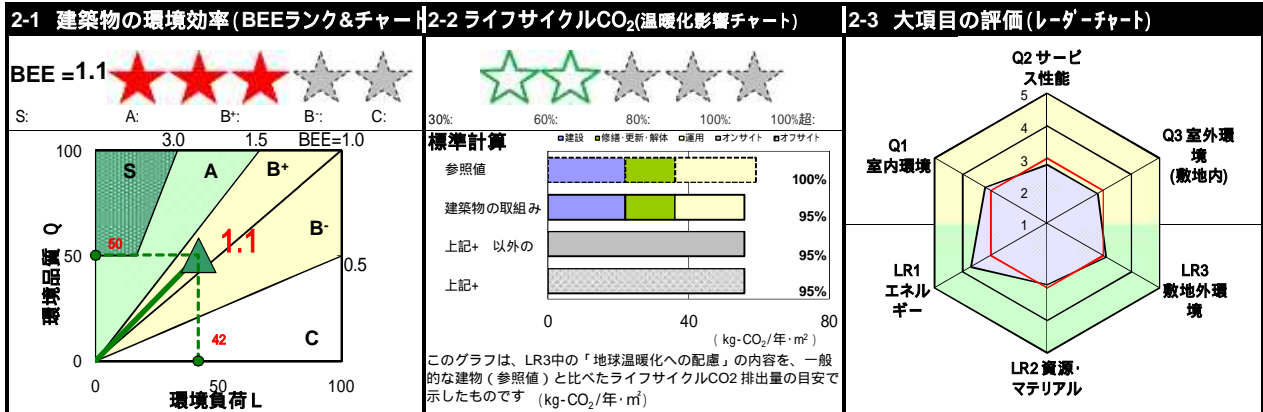


1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	[仮称] 藤沢MS計画	階数	地上14F
建設地	藤沢市藤沢字東横須賀545番39外	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	94人
気候区分	地域区分	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2015年2月 竣工	評価の実施日	2013年10月24日
敷地面積	574 m ²	作成者	株式会社ディーシービー
建築面積	213 m ²	確認日	2013年10月24日
延床面積	2,591 m ²	確認者	株式会社ディーシービー

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください



3 設計上の配慮事項

総合	その他
<p>雁行型塔状の当該計画は、周辺環境に圧迫感を与えるような大きな面をつくらぬよう考慮し、コンパクトで明るい印象となるよう努めている。又、周囲は無機質な意匠にならないよう、藤沢市の緑化基準以上の緑地帯を確保している。</p>	0
<h4>Q1 室内環境</h4> <p>住戸部は、カーテン及び庇によりグレアを抑制する。JIS 建築材料を床・壁・天井・天井裏の面積の70%以上の面積に採用している。</p>	<h4>Q2 サービス性能</h4> <p>100mbitクラスのブロードバンド利用が可能。免震装置を導入し揺れを抑えることで内部設備の保護が期待できる。給水: SUS、汚水排水及び雑排水: VP</p>
<h4>Q3 室外環境 (敷地内)</h4> <p>防犯カメラを設置し防犯性に配慮している。排熱に配慮し高い位置から排熱を行う。</p>	<h4>LR3 敷地外環境</h4> <p>高効率の蛍光灯照明を採用した。横浜市の気象観測データをアメダスを確認し設計を行った。建築設備に伴う排熱は低温排熱とし気温上昇の抑制に務める。広告物照明を設けない。</p>
<h4>LR1 エネルギー</h4> <p>燃料系潜熱回収瞬間式給湯器を使用している。</p>	<h4>LR2 資源・マテリアル</h4> <p>住戸部外壁の屋内側LGS地下使用することで躯体と仕上げが用意に分別可能となっている。</p>

CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される